

# AE

Aomori Energy

エネルギー情報誌

原子力だよりAE

vol. 158  
Spring 2024

## 原子力に関する 意見交換会

特集

かやぶきの寄せ棟が美しい!  
旧苔地家住宅



霊験あらたか  
熊野神社



photo: 館野公園

届け! エネルギーの現場から  
六ヶ所原燃PRセンター



良いダシ出てるよ!  
シャモロック鍋

わんつか紹介

六戸町

春、満開!!  
館野公園



青い森の美味しい 楽しいレシピ

いちご



穏やかな春の  
ドライブは  
六戸町が  
オススメだぞ。

## ■ 国の説明



### 「我が国のエネルギー政策と原子力・核燃料サイクル政策について」 資源エネルギー庁 核燃料サイクル産業立地対策室

#### ① 日本のエネルギー情勢

エネルギー資源に乏しい日本は、化石燃料の調達の約9割を海外からの輸入に依存していることや、ロシアのウクライナ侵略によって世界的にもエネルギー価格が高騰していることなどについて説明しました。

#### ② エネルギー基本計画・GX基本方針

第6次エネルギー基本計画の内容や2030年度の電源構成、GXの実現に向けての基本的な考え方などについて説明しました。

#### ③ 核燃料サイクル政策

我が国は、資源の有効利用、高レベル放射性廃棄物の減容化、有害度低減等の観点から、使用済燃料を再処理し、回収されるプルトニウム等を有効利用する核燃料サイクルの推進を基本方針としていることや核燃料サイクルについては、引き続き、関係自治体や国際社会の理解を得つつ取り組むこととし、使用済燃料の再処理やプルサーマル等を推進していくことなどについて説明しました。



資源エネルギー庁の説明

#### ④ 高レベル放射性廃棄物の最終処分

高レベル放射性廃棄物の最終処分地にしなないと青森県との確約や最終処分地選定に向けた取組の状況などについて説明しました。

### 青森原子力産業立地調整官事務所のご案内

国の原子力政策について「詳しく知りたい」という方は、お気軽にお問い合わせください。

- 住民の皆さまからのご意見ご質問に、職員が丁寧にお答えします。
- エネルギー政策に関する各種資料をそろえた閲覧室が併設されており、どなたでもご利用いただけます。

〒030-0861 青森市長島1-3-5 青森第二合同庁舎8階 ☎017-722-1729  
【閲覧室利用時間】10時～12時、13時～16時(土・日祝日は休館)

【資源エネルギー庁ホームページ】<https://www.enecho.meti.go.jp/> エネルギーに関するさまざまな情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



### 「原子力施設の安全規制について」

原子力規制委員会 原子力規制庁 青森地域原子力規制総括調整官事務所

#### ① 原子力規制委員会の組織

原子力規制委員会設置の経緯や組織の変遷、独立性が高い組織であることなどについて説明しました。

#### ② 原子力規制委員会の業務

原子力施設の規制、環境放射線の監視、原子力災害の対策と対応、核物質防護等の規制など、原子力規制委員会ではどのような業務を行っているのか説明しました。

#### ③ 新規規制基準と適合性確認

福島第一原子力発電所事故の教訓等を踏まえて制定された新規規制基準について、従来の基準との変更点や、再稼働や運転するためにはどういった審査や検査などが必要なのか、新規規制基準適合性確認の手続きの流れについて説明しました。

## ■ いろんなことをやっているの？

毎年開催する市町村を変えて、県内6か所程度で開催しています。専門家による放射線の基礎についての解説や、国・県・原子力事業者による原子力政策・原子力施設の安全対策等についての説明のほか、参加いただいた皆さまからご質問やご意見をお伺いしています。



おいらせ町での開催の様子

### 【令和5年度の開催状況】

- 10月11日(水) 今別町開発センター
- 10月12日(木) 板柳町多目的ホールあぶる
- 10月16日(月) おいらせ町立東公民館
- 10月17日(火) 階上町道仏交流センター
- 10月26日(木) 田舎館村中央公民館

合わせて102名  
参加したぞ。

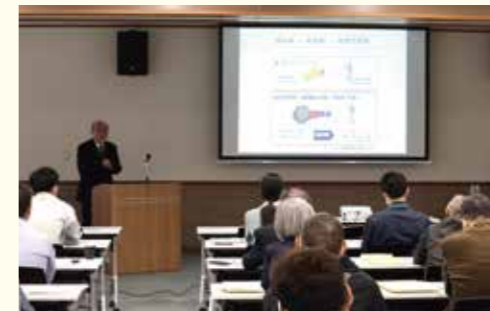


## ■ 放射線の専門家による解説

### 「放射線の基礎知識」

帝京大学 医療技術学部 客員教授 鈴木崇彦先生

放射線、放射能などの用語の解説や、放射線の種類と性質など、基礎的な知識についてご説明いただきました。また、身の回りの放射線や放射線の人体影響・発がんリスクなどについてもご解説いただきました。



田舎館村での開催の様子

### 「さまざまな顔をもつ放射線といかに“上手に”つきあうか」

東京大学 環境安全本部 教授 飯本武志先生

放射線には人体に影響を与えるなどのリスクがあること、ルールや安全基準がきちんと設けられた上で医療や工業など幅広い分野で放射線が利用されていることなどについてご説明いただきました。また、身の回りの自然放射線などについてもご説明いただきました。



今別町での開催の様子

「そもそも放射線ってなんだろう？」  
「どのようなリスクがあるのだろうか？」  
といった素朴な疑問から放射線の基礎知識まで、専門家の先生が分かりやすく解説したぞ。



# 特集

# 原子力に関する意見交換会

県では、県民の皆さまにエネルギーや原子力についてより深く知っていただくため、「原子力に関する意見交換会」を開催しています。今回は、令和5年度に県内の市町村で開催した意見交換会の様子をご紹介します。

この会に参加して  
エネルギーのこと、  
原子力のこと、  
もっと知識を  
深めるぞ！



## ■ 県の説明



### 「原子力に関する県の取組」

青森県 原子力立地対策課

#### 1 広聴広報活動

原子力について考え、判断する環境づくりとして、原子力に関する意見交換会の開催や青森県原子力モニターによる意見聴取、広報誌・パンフレット等を活用した広報活動などを行っていることについて説明しました。

#### 2 安全確保・環境保全対策

立地自治体とともに事業者と安全協定を締結し、施設の立ち入り調査等を実施していることや、施設周辺の環境放射線を調査・評価・公表していることなどについて説明しました。

#### 3 原子力防災対策

青森県地域防災計画を作成して防災対策を実施していることや、原子力防災訓練を毎年実施していることなどについて説明しました。

#### 4 地域振興対策

原子力施設の立地により、建設工事等に伴う地元雇用や地元企業の受注の拡大が図られるとともに、関連企業の立地や雇用促進、研究開発・人材育成のための施設の立地が進んでいることや、電源三法交付金などの活用により、立地自治体だけでなく県内各市町村において、公共施設等の整備や産業育成・振興等の施策が実施されていることなどについて説明しました。

## ■ 事業者の説明



### 「原子燃料サイクル事業の現状」

日本原燃株式会社

#### 1 施設の概要

原子燃料サイクルの仕組みや、再処理工場、MOX燃料工場、ウラン濃縮工場などの日本原燃の施設について、概要や新規規制基準審査の状況等の説明をしました。

#### 2 再処理工場のしゅん工・操業に向けた取組

新規規制基準を踏まえた地震や津波など大規模な自然災害への対策や重大事故対策、重大事故等の発生を想定した訓練などについて説明しました。また、運転員の技術力維持・向上のため、フランスにあるラ・アーク再処理工場に職員を派遣し、実機の運転訓練を行っていることについても説明しました。

#### 3 地域住民への理解活動等

パンフレットやテレビ、SNSなどさまざまな広報媒体を用いて情報発信していることや、六ヶ所村内の全戸を訪問して事業の現状等をお知らせする「全戸訪問」など、地域住民に対して行っている理解活動について説明しました。



### 「リサイクル燃料備蓄センターの現状について」

リサイクル燃料貯蔵株式会社

新規規制基準適合性審査の状況や事業開始までの流れ、安全対策工事の概要、広報活動などについて説明しました。



### 「東通原子力発電所 安全性向上に向けた取り組みについて」

東北電力株式会社

地震・津波関係の新規制基準適合性審査の状況や、安全を確保するのは「人」であるため日頃から実践的な訓練を実施していることなどについて説明しました。



東北電力(株)の説明

## 参加者の声

資源の少ない我が国では風力、水力、地熱等の再生可能エネルギーだけの発電には無理があると思います。原子力発電も必要だと思います。地震や津波等の被害を受けないよう、安全対策をしっかりと行ってほしいです。原子力発電に期待しています。

日本のエネルギー政策に対して、青森県は大いに貢献していると私は思っています。しかし、県民としてどれほどの人が関心を持っているかというと、日々の生活の中でエネルギーや原子力に関しては無関心な人が多いと感じています。小さな会でも良いので、各市町村での説明会を数多くできれば良いかなと思います。一般の人たちが集まりやすいよう、興味を持つような内容やテーマでの集会であれば良いのではないのでしょうか。鈴木先生の放射線についてのお話は大変良く理解できました。

「放射線の基礎」について、基礎の基礎から学ぶことができて大変参考になりました。今後もいろいろ機会を見つけて学んでいきたいと思っています。また、高レベル放射性廃棄物の最終処分地についてはまだまだ見通しが立たないかと思いますが、時間をかけてじっくりと取り組んでいければと思います。

皆さん、  
ご参加ありがとうございます！



これをきっかけに  
青森県とエネルギーの  
関わりについて  
もっと関心を持とう！



# 届け!

## エネルギーの現場から

### 六ヶ所原燃PRセンター

六ヶ所原燃PRセンターは、日本原燃株式会社が事業を行う「原子燃料サイクル施設」を中心に、原子力や放射線について大きな模型やパネル、映像を使用して分かりやすく紹介している施設です。平成3年9月20日にオープンし、令和5年11月時点で240万人を超える方々が来館しています。今回は、六ヶ所原燃PRセンターの業務をご紹介します。

#### お客様ののご案内

六ヶ所原燃PRセンターでは、六ヶ所村にある原子燃料サイクル施設や、原子燃料サイクル事業について分かりやすく紹介しています。令和4年度は3万3000人の方が来館しました。

PRセンターは地上3階から地下1階まであり、3階展望ホールでは地上20mの高さから360度の壮大なパノラマが楽しめます。2階はエネルギーに関するゲームや放射線を学ぶコーナーとなっており、1階と地下では再処理工場などについて動く大型模型やパネルで紹介しています。

館内は予約不要で自由に見学できますが、スタッフによる案内を希望する場合は、電話やホーム



PRセンター外観

### エネルギーの現場で働くこの人に聞きました。

#### 主な業務内容は?

大型模型などを活用して、原子燃料サイクル施設に関する情報を来館者に説明する案内スタッフです。県内の学校などで原子力や放射線に関する出前授業を行う機会もあり、原子燃料サイクルの重要性などを分かりやすく伝えることが主な業務です。また、当施設では季節に合わせたイベントを開催しており、その企画や運営にも携わっています。

#### 日々心がけていることは?

当施設は小学生からお年寄りま

#### 六ヶ所原燃PRセンター案内スタッフ 館 桃花さん(23)

横浜町出身。県内の短期大学在学中に当施設を訪れた際、凛とした姿勢で案内しているスタッフの姿を見て憧れを抱き、自身もその道へ。4年目となる現在は、PRセンター館内の案内やイベント企画・運営業務に従事しています。



原子燃料サイクル施設

ページで予約することもできます。

「ご来場いただけない方は、PRセンターのホームページからスタッフによるオンライン動画説明を見ることができます。」

また、館内での説明のほか、自治体などが主催する見学会等では、日本原燃株式会社のウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、再処理工場等について現地での説明も行っています。

#### 学校等での出前授業の実施

PRセンターでは県内の各小学校・高校・大学等に出向いて、放射線やエネルギー、原子燃料サイクル施設等についての出前授業を行っています。



受付対応の様子

幅広い年齢の方々に来館いただいております。見学の目的や原子力・放射線の知識量も皆さま異なります。専門用語を避けて親しみやすい言葉を使ったり、一人ひとりの反応を見ながら説明内容を変えたりなど工夫して、分かりやすい説明をするよう心がけています。また、来館された皆さまの階段や段差での事故防止に細心の注意を払っています。

#### これからの目標は?

原子燃料サイクル施設のPRセンターは全国でも当施設だけであり、責任ある重要な役割を担っていると自負しています。案内を担当したお客さまから、「原子燃料サイクルについてよく理解できた」「説明が分かりやすかった」などの感想を

小中学校では放射線について実験やクイズで学ぶ授業、高校や大学等ではその内容に加えて、原子燃料サイクル施設の必要性や安全対策、世界のエネルギー情勢などについての講義を行っています。令和4年度は計63回の出前授業を実施しました。



出前授業の様子

#### イベントの開催

PRセンターでは、スパハウスろっかぼっか(六ヶ所村)や日本原燃サイクル情報センター(青森市)と連携して、イベントを定期的に開催しています。

毎回、スタッフの企画による工作教室やダンボール迷路、原子力クイズラリー、雪像コンテストなど、さまざまな催し物を実施しており、県内各地からたくさんの方が参加しています。

いただいたときにやりがいを感じます。全国各地からの来館者に原子燃料サイクルの重要性を伝えるため、さらに知識を身につけて案内スキルを磨き、将来的には後輩を育成できるようになりたいです。



来館者の案内

#### 館さんの1日のスケジュール

8:30	出社
9:00~12:00	来館者の案内
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~14:00	インフォメーション(受付)業務
14:00~16:00	来館者の案内
16:00~17:00	イベント等開催に向けた企画・準備
17:20	退社



今回のあおり食材は…

いちご



青森県のいちごは、11月から6月にかけて収穫される「冬春いちご」と、7月から10月にかけて収穫される「夏秋いちご」があります。主産地は冬場の日照時間が長い太平洋沿いの八戸市ですが、露地栽培から施設栽培への切り替えが進み、平川市や黒石市などの津軽地方やむつ市、東通村などの下北地域でも「夏秋いちご」として生産され、周年供給できるようになりました。

## いちごのシャーベット

いちごたっぷり！ フローズンヨーグルトタイプのシャーベット！

【材料】(4人分)

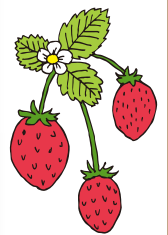
いちご …… 1パック(約250g)  
プレーンヨーグルト …… 200g  
練乳 …… 100g

【作り方】

- いちごを適当な大きさに切り、全ての材料をミキサーにかける。
- ①をジッパー付き保存袋に入れ、硬くなり過ぎない程度まで冷凍庫で凍らせる。  
硬くなり過ぎたら袋をもんで、ちょうど良い状態にする。

【レシピ監修】

自宅れすとらん「こんみど」(青森市)主宰 尾崎 優さん



## いちごのトライフル

グラスの中で重ねるだけ。ケーキのように仕立てたいちごデザート！

【材料】(4人分)

いちご …… 1パック(約250g)  
カステラ …… 4切れ  
生クリーム …… 100ml  
A 砂糖 …… 大さじ1/2  
バニラエッセンス …… 3滴  
卵 …… 1個  
砂糖 …… 大さじ1  
B 薄力粉 …… 大さじ1  
牛乳 …… 150ml  
バニラエッセンス …… 3滴

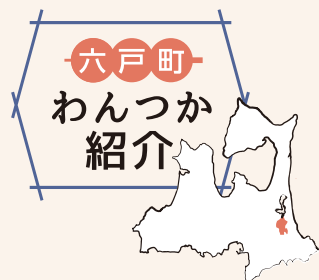
※バニラエッセンスを洋酒(ラム酒やブランデー)にすると大人な味わいに。

【作り方】

- Aの材料で8分立ての生クリームを作る。生クリームに砂糖を入れて泡立て器で混ぜ、やわらかいツノが立つ程度まで仕上げる。バニラエッセンスで香り付けをする。



- Bの材料でカスタードクリームを作る。耐熱容器に卵を入れ、よく溶いたら砂糖を加えて泡立て器で混ぜる。よく混ざったら薄力粉をふるい入れ、泡立て器でさっくり混ぜる。最後に牛乳を加えて軽く混ぜる。ラップをせずに600Wのレンジで2分加熱する。加熱後いったん取り出し、泡立て器でよく混ぜ、さらに1分加熱する。再度取り出してよく混ぜ、最後に1分加熱する。加熱後、バニラエッセンスを入れてしっかり混ぜ、クリームの表面にラップをびったりと密着させて、粗熱を取り、冷蔵庫で冷やす。
- カステラといちごを1cm角にカットする。飾り用のいちごは別にとっておく。
- グラスの中に、生クリーム、カスタードクリーム、カステラ、いちごを何層かに重ね、最後にいちごを飾る。



六戸町は、上北郡の東南部に位置する町で、十和田湖を源流とする奥入瀬川が東西を流れ、流域には農地が広がっています。町のシンボルとして愛されている館野公園は山桜の自然公園として知られており、春には山桜が咲き誇ります。夏場はヘラブナ釣りやキャンプが楽

しめ、冬には白鳥が飛来するなど、季節を問わず、にぎわいを見せています。公園内ではビオトープ活動が行われ、自然と触れ合いながら楽しむことができます。また、町の観光拠点「道の駅ろくのへ」では、町の特産品「青森シャモロック」を使ったカレーを味わうことができます。



人気のシャモロックカレー